

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月7日
【四半期会計期間】	第56期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	フルサト工業株式会社
【英訳名】	FURUSATO INDUSTRIES,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 古里 龍平
【本店の所在の場所】	大阪市中央区南新町一丁目2番10号
【電話番号】	(06)6946-9605(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 大西 聡
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区南新町一丁目2番10号
【電話番号】	(06)6946-9605(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 大西 聡
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第2四半期連結 累計期間	第56期 第2四半期連結 累計期間	第55期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(百万円)	37,420	37,634	75,084
経常利益(百万円)	1,167	1,205	2,488
四半期(当期)純利益(百万円)	658	699	1,288
四半期包括利益又は包括利益(百万円)	385	928	1,310
純資産額(百万円)	29,252	30,680	30,040
総資産額(百万円)	46,016	48,027	47,532
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	44.82	48.18	88.10
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	63.6	63.9	63.2
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,308	1,473	2,200
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	250	700	261
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	317	287	455
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	7,662	8,890	8,404

回次	第55期 第2四半期連結 会計期間	第56期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	30.36	33.27

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 新株予約権付社債等潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、景気が緩やかに回復しつつある中で、鉱工業生産は機械工業などにおいて緩やかな増加傾向にあり、設備投資は非製造業を中心とした持ち直しの動きが見られます。建築着工は増加傾向が続き特に非居住用においてその動きが顕著に見られました。

このような環境の中、当社グループの売上は、機器・工具事業が第2四半期連結会計期間に入り前年同期比がプラスに転じ回復傾向が見られたものの、機械・設備事業は引き続き2桁減となりました。一方で、建築・配管資材事業は比較的好調な状態で推移しました。

それらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ0.6%増加し376億3千4百万円となりました。売上総利益は比較的利益率の高い鉄骨建築資材事業が好調であったことなどにより同3.6%増となり、一方で販売費及び一般管理費が同3.2%増であったことにより、営業利益は同5.0%増の10億7千3百万円となりました。経常利益は同3.3%増の12億5百万円、四半期純利益は同6.1%増の6億9千9百万円となりました。

セグメントの状況は次のとおりです。

(機器・工具事業)

当事業の売上高は、前年同期比0.8%増の190億2千5百万円となりました。鉱工業生産の回復により、工業機器事業が第1四半期連結累計期間のマイナスから横ばいに転じたものの、同4.4%減となり、自動車向け機械工具事業が回復傾向を示し同8.9%増、住宅設備機器事業が同25.9%増と好調に推移しました。これらの結果、営業利益は同20.8%減の3億3千3百万円となりました。

(機械・設備事業)

当事業の売上高は、前年同期比13.2%減の64億1千2百万円となりました。工作機械内需受注が増加傾向を示す中、工作機械事業の受注も増加しているものの、売上については同13.7%減となり、FAシステム事業は持ち直しの動きが見られたものの、同10.9%減となりました。これらの結果、営業利益は同46.2%減の1億3百万円となりました。

(建築・配管資材事業)

当事業の売上高は、前年同期比9.3%増の121億9千6百万円となりました。鉄骨建築需要が好調に推移する中、鉄骨建築資材事業は同11.7%増となり、配管資材事業は同0.1%減となりました。これらの結果、営業利益は同74.7%増の6億2千1百万円となりました。

(2)財政状態の分析

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末日現在の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億9千4百万円増加し480億2千7百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加5億9千3百万円、受取手形及び売掛金の減少9億5千2百万円等により、流動資産が2億3千2百万円減少しましたが、投資有価証券の増加3億9千万円、有形固定資産の増加3億4千9百万円等により、固定資産が7億2千7百万円増加したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末日現在の負債は、前連結会計年度末に比べ1億4千5百万円減少し、173億4千6百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1億9百万円、未払法人税等の減少7千8百万円、固定資産撤去費用引当金の減少5千2百万円等により、流動負債が2億2千4百万円減少したこと、繰延税金負債の増加1億3千8百万円、退職給付引当金の減少5千9百万円等により、固定負債が7千8百万円増加したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末日現在の純資産は、前連結会計年度末に比べ6億4千万円増加し、306億8千万円となりました。この主な要因は、自己株式の取得により3千4百万円減少しましたが、利益剰余金が4億4千4百万円増加、その他有価証券評価差額金が2億2千9百万円増加したことによります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動における資金の増加、及び投資活動と財務活動における資金の減少により、期首残高に比べ4億8千6百万円増加し、88億9千万円(前年同期は76億6千2百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、14億7千3百万円(前年同期は得られた資金13億8百万円)となりました。これは主に法人税等の支払額5億1千7百万円、仕入債務の減少額2億2千7百万円、退職給付引当金の減少額5千9百万円等がありましたが、税金等調整前四半期純利益12億2千6百万円、売上債権の減少額11億5百万円、及び減価償却費1億4千6百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、7億円(前年同期は使用した資金2億5千万円)となりました。これは有形固定資産の取得による支出5億5千5百万円、定期預金の純増加額1億7百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、2億8千7百万円(前年同期は使用した資金3億1千7百万円)となりました。これは配当金の支払額2億5千3百万円、自己株式の取得による支出3千4百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	42,125,500
計	42,125,500

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,574,366	14,574,366	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	14,574,366	14,574,366	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	14,574,366	-	5,232,413	-	5,975,224

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社エフアールテイ	神戸市東灘区御影山手1丁目5-1	2,168	14.87
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7-1	707	4.85
古里 龍一	神戸市東灘区	585	4.01
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6	496	3.40
古里 龍平	兵庫県西宮市	401	2.75
神鋼商事株式会社	大阪市中央区北浜2丁目6-18	386	2.65
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託 口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	378	2.59
阪和興業株式会社	東京都中央区銀座6丁目18-2	344	2.36
清和鋼業株式会社	大阪市西区九条南3丁目1-20	292	2.00
フルサト工業従業員持株会	大阪市中央区南新町1丁目2-10	271	1.86
計	-	6,033	41.40

(注) 上記日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は276千株であります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 73,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,453,900	144,539	-
単元未満株式	普通株式 46,666	-	-
発行済株式総数	14,574,366	-	-
総株主の議決権	-	144,539	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が4,000株含まれております。
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数40個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
フルサト工業株式会社	大阪市中央区南新町 1丁目2番10号	73,800	-	73,800	0.51
計	-	73,800	-	73,800	0.51

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,439,749	9,033,436
受取手形及び売掛金	22,093,890	21,141,208
商品及び製品	3,026,877	2,964,574
仕掛品	469,472	483,948
原材料及び貯蔵品	143,440	139,709
繰延税金資産	321,182	288,830
その他	206,807	413,180
貸倒引当金	41,046	36,968
流動資産合計	34,660,373	34,427,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,202,171	2,128,904
土地	6,653,870	6,653,870
その他(純額)	320,133	742,839
有形固定資産合計	9,176,175	9,525,614
無形固定資産	48,763	57,281
投資その他の資産		
投資有価証券	2,314,679	2,705,373
前払年金費用	119,235	125,479
繰延税金資産	42,469	3,769
その他	1,248,710	1,258,700
貸倒引当金	77,881	76,756
投資その他の資産合計	3,647,212	4,016,567
固定資産合計	12,872,151	13,599,462
資産合計	47,532,524	48,027,383

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,714,133	14,604,829
未払法人税等	542,795	464,158
賞与引当金	505,359	516,673
役員賞与引当金	25,180	12,925
災害損失引当金	7,762	7,762
固定資産撤去費用引当金	52,000	-
その他	806,932	823,631
流動負債合計	16,654,162	16,429,980
固定負債		
繰延税金負債	437,818	576,277
退職給付引当金	209,842	150,574
その他	190,546	189,986
固定負債合計	838,207	916,839
負債合計	17,492,369	17,346,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,232,413	5,232,413
資本剰余金	5,975,224	5,975,224
利益剰余金	18,108,452	18,553,261
自己株式	22,220	56,260
株主資本合計	29,293,870	29,704,639
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	746,284	975,924
その他の包括利益累計額合計	746,284	975,924
純資産合計	30,040,154	30,680,563
負債純資産合計	47,532,524	48,027,383

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	37,420,076	37,634,704
売上原価	32,104,156	32,129,132
売上総利益	5,315,919	5,505,572
販売費及び一般管理費	¹ 4,293,692	¹ 4,431,969
営業利益	1,022,226	1,073,603
営業外収益		
受取利息	5,653	5,305
受取配当金	20,286	22,206
仕入割引	226,250	211,394
受取賃貸料	15,880	16,247
その他	10,083	7,932
営業外収益合計	278,153	263,086
営業外費用		
売上割引	122,905	116,417
賃貸収入原価	1,989	1,602
その他	8,045	12,809
営業外費用合計	132,940	130,829
経常利益	1,167,440	1,205,859
特別利益		
投資有価証券売却益	-	26,094
特別利益合計	-	26,094
特別損失		
固定資産除却損	-	² 5,515
特別損失合計	-	5,515
税金等調整前四半期純利益	1,167,440	1,226,438
法人税、住民税及び事業税	455,629	440,286
法人税等調整額	52,973	86,959
法人税等合計	508,602	527,245
少数株主損益調整前四半期純利益	658,837	699,193
四半期純利益	658,837	699,193

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	658,837	699,193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	273,752	229,639
その他の包括利益合計	273,752	229,639
四半期包括利益	385,085	928,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	385,085	928,832
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,167,440	1,226,438
減価償却費	138,401	146,650
役員賞与引当金の増減額 (は減少)	14,195	12,255
退職給付引当金の増減額 (は減少)	62,800	59,267
前払年金費用の増減額 (は増加)	10,444	6,244
賞与引当金の増減額 (は減少)	27,899	11,314
貸倒引当金の増減額 (は減少)	13,252	5,202
受取利息及び受取配当金	25,939	27,511
投資有価証券売却損益 (は益)	-	26,094
売上債権の増減額 (は増加)	2,550,805	1,105,528
たな卸資産の増減額 (は増加)	30,308	51,557
仕入債務の増減額 (は減少)	1,436,785	227,281
その他	171,379	213,705
小計	2,119,441	1,963,927
利息及び配当金の受取額	25,652	27,438
法人税等の支払額	836,575	517,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,308,518	1,473,494
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	66,412	143,300
定期預金の払戻による収入	64,617	35,700
有形固定資産の取得による支出	45,629	555,529
投資有価証券の取得による支出	12,753	57,236
投資有価証券の売却による収入	-	44,824
差入保証金の差入による支出	133,721	11,702
その他	56,261	12,939
投資活動によるキャッシュ・フロー	250,161	700,182
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	96,988	34,039
配当金の支払額	220,354	253,185
財務活動によるキャッシュ・フロー	317,343	287,225
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	741,013	486,087
現金及び現金同等物の期首残高	6,921,413	8,404,049
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,662,427	8,890,136

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

連結会計年度末日満期手形

連結会計年度末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	910,972千円	- 千円
支払手形	19,166	-

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
荷造運賃	487,315千円	535,014千円
貸倒引当金繰入額	7,456	3,003
賞与引当金繰入額	449,953	451,941
役員賞与引当金繰入額	12,585	12,925
給料手当賞与	1,683,047	1,691,564
退職給付費用	84,752	95,096

2 固定資産除却損

固定資産除却損の内容は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
機械及び装置	- 千円	5,515千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	7,758,840千円	9,033,436千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	96,412	143,300
現金及び現金同等物	7,662,427	8,890,136

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	221,315	15	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月2日 取締役会	普通株式	73,137	5	平成24年9月30日	平成24年11月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	254,384	17.5	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月31日 取締役会	普通株式	72,502	5	平成25年9月30日	平成25年11月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,869,870	7,391,655	11,158,550	37,420,076	-	37,420,076
セグメント間の内部 売上高又は振替高	430,942	152,791	8,462	592,196	592,196	-
計	19,300,812	7,544,447	11,167,012	38,012,273	592,196	37,420,076
セグメント利益	421,756	191,655	355,784	969,197	53,029	1,022,226

(注) セグメント利益の調整額53,029千円には、セグメント間取引消去55,393千円、たな卸資産の調整額 2,364千円が含まれております。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	機器・工具	機械・設備	建築・配管 資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,025,431	6,412,579	12,196,693	37,634,704	-	37,634,704
セグメント間の内部 売上高又は振替高	444,827	154,323	15,452	614,604	614,604	-
計	19,470,259	6,566,902	12,212,146	38,249,308	614,604	37,634,704
セグメント利益	333,870	103,095	621,420	1,058,386	15,216	1,073,603

(注) セグメント利益の調整額15,216千円には、セグメント間取引消去18,015千円、たな卸資産の調整額 2,799 千円が含まれております。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	44円82銭	48円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	658,837	699,193
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	658,837	699,193
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,699	14,513

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権付社債等潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月31日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・72,502千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・5円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・・・・・平成25年11月27日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月31日

フルサト工業株式会社
取締役会御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石 黒 訓 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 目 細 実 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフルサト工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フルサト工業株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。